



協働の機会提案書 (新規提案用)

平成29年7月18日

印西市長

様

(登録者) 登録番号 29-002

名称 印西防災研究会

所在地 印西市武西学園台

代表者職氏名 向井地 純一

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

1、提案事業名	自主防災組織運営の知識の啓蒙・普及事業
2、現状・課題	<p>今後30年以内に、震度6以上の大地震に見舞われる確率は千葉県は80%と予測されている。また、地球温暖化の影響もあってか、洪水、土砂災害などの災害も多発している。</p> <p>防災対策は、「自助」「共助」「公助」の有機的一体化が基本であり、「共助」の中核は自主防災組織活動である。</p> <p>印西市の自主防災組織の結成率は約50%であり、千葉県の58%、全国の77%から見ても、かなり低率となっている。また、自主防災組織の役員は、町内会等の役員が兼務するところが多く、毎年交代で高齢化も目立つ。加えて、構成員の防災研修は、不十分であり、また、自主防災組織間の情報交換・相互啓発もほとんど行われていない。</p> <p>今後、自主防災組織の活性化対策として、自主防災組織の構成員に対し、自主防災組織運営の知識の啓蒙・普及が、喫緊の課題となっている。</p>
3、提案理由	<p>自主防災組織が活発に活動できるように、市防災課と協働で、自主防災組織の構成員に対し、自主防災組織運営の知識を啓蒙・普及する。</p>

<p>4、提案内容</p>	<p>平成29年4月に作成した6種類のわかりやすい防災マニュアルを活用し、印西市の自主防災組織の構成員に対し、研修会等を通じ、防災知識の啓蒙・普及に取り組む。</p> <p><6種類のわかりやすい防災マニュアル（初版）></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主防災組織運営の基本 ② 自主防災組織活動マニュアル（中高層マンション編） ③ 防災訓練モデル ④ 防災倉庫備蓄品標準モデル ⑤ 印西市避難者行動要支援者マニュアル<要旨> ⑥ 避難所運営マニュアル <p><研修会先></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 印西市自主防災組織 対象90か所 研修会等の必要性について、アンケート等により事前に意見聴取し、研修先を絞り込む。 ② 印西市自主防災組織研修会（市防災課主催）、自治会連合会、社会福祉協議会、公民館主催の研修会など、市防災課の知恵を借り、マニュアルの啓蒙・普及に取り組む。 <p>必要経費は、約20万円程度見込んでいる。</p>
<p>5、貴団体の特性、協働で実施するメリット</p>	<p>印西防災研究会は、平成27年4月に市民アカデミー16期生の有志11名で立ち上げ、昨年は、千葉銀行まちづくりファンドの助成を受け、6種類のわかりやすい防災マニュアルを作成した。また、千葉県の災害対策コーディネーターの資格を3名取得した。</p> <p>現在、会員は9名であるが、これまでの防災学習、防災研修受講、防災訓練への参加等の準備を重ねてきており、市防災課と協働で、自主防災組織の構成員に対し、自主防災組織運営の知識の啓蒙・普及に取り組むことができる。</p>

<p>6、事業実施により得られる効果</p>	<p>市防災課との協働による自主防災組織運営の知識の啓蒙・普及は、既自主防災組織の構成員のレベルアップに繋がり、自主防災組織の活性化に役立つ。</p> <p>今後の展望として、初年度の取り組みの様子を見て、</p> <ul style="list-style-type: none">① 各自主防災組織を横断的につなぐ「印西市自主防災組織連合会」の新規立ち上げ② 自主防災組織未設置の解消推進（印西市の中期計画では、自主防災組織の結成率を約50%から10%アップの60%にするとしている。） <p>に取り組む。</p>
------------------------	--

以上